

第3回東日本震災写真展 報告書

日時：2016年2月16日（火）～2月21日（日）

9時～22時（最終日は18時まで）

場所：国立市公民館 ロビー

2016年2月16日（火）から21日（日）の6日間、第3回東日本大震災写真展を開催しました。

国立駅（南口）を右側に富士見通りがあります。冬の寒いときなどは富士山が見える通りです。

富士見通りを駅から歩いて約5分、左側に国立市公民館があります。地上3階建てのやや大きめのビルの1階部分から半地下にロビーがあり、そこが写真展の会場でした。



2011年3月11日

東日本を襲った大津波

被災地の方々が撮った写真たち

時が経つにつれ忘れられていく被災地の現状。震災から5年が経過した今、改めて震災を振り返り、わたしたちができることを考えませんか？

日時 2016年2月16日（火）～2月21日（日）

9時～22時（最終日は18時まで）

※2月21日（日）15時～17時 トーク&ミニライブ

【内容】支援者から見た被災地の現状、など

場所 国立市公民館 ロビー

（東京都国立市中1-15-1）

JR中央線国立駅 南口 徒歩約5分

国立市コミュニティバス（バス）ご利用可（バス停）

ロビーの展示は無料です。

入場料無料

NPO法人「震災支援財団（NPO）」によって2012年から、子どもたちが被災地をめぐり撮影した写真、震災を伝える写真展を開催しています。

主催 ● 特定非営利活動法人 復興応援隊（NPO）
お問い合わせ ● 03-5230-1498（古川 美三）
E-mail ● tsukokomi.caravan@gmail.com
ホームページ ● <http://kamaish929.jp/>



展示したのは全て、被災地である岩手県釜石市および近隣の方々によって撮られた写真です。写真をご提供くださった、前川弾さん、菊地信平さん、澤田幸三さん、毎日新聞記者 萩尾さんに深く感謝いたします。

初日（16日火曜日）、朝9時から搬入作業をし、10時には完了しました。

国立市公民館の開館時間は9時から22時で、平日にもかかわらず意外と人の出入りがありました。

初日午前中だけでも5～6人の方が来場し、写真を見ていただきました。

スタッフが常に居るわけではありませんでしたので正確な来場人数はわかりませんが、1日平均15人程度の方が今回の写真展に来てくださったと思われます。したがって、6日間で約90人の方にご来場いただけたと思います。このうち10名の方に記帳していただきました（スタッフを除く）。



21日最終日は、午後3時から「支援者から見た被災地の現状報告」を行いました。続いてミニライブ。KARAMI、ぼけまる(かけこみ亭店主)の演奏があり、最後に古川勇三さん(今回震災写真展担当)による詩の朗読がありました。

たくさんの方々に第3回東日本震災写真展にご来場いただき、被災地のことを少しでも伝えられたのではないかと考えています。

また、来場者には東北で震災に遭われた方や釜石出身の方にもいらっしゃいました。記帳してくださったコメントを通じて、当事者のつらい悲しい想いと忘れてはいけない想いに感じ入りました。

今年、震災5年目を迎え、各地で震災写真展の開催や関連したイベントが行われています。私たちは、被災地の現在の様子などを報告しながら、決して忘れてはいけない、震災の恐ろしさを伝えていなければならないと、あらためて思いました。

NPO法人復興応援かけこみキャラバンとしては、年3回の震災写真展開催を予定しています。次回は2016年6月に開催予定です。

(記 熊谷 勝美)

この事業は、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成を受けて実施しています

